

# 平成30年度「学力・学習状況」検証事業研究成果報告書

多古町立多古中学校

## 1 学校紹介

本校は昭和48年に3つの中学校が合併統合して開校した町に1つの中学校である。学級数は11クラス（特別支援学級2クラスを含む）、全校生徒は285名である。多古町には4つの小学校、県立高等学校、単位制私立高等学校、こども園があり、幼小中（高）の連携教育を推進し、「多古の子 町の子 みんなの子」の合い言葉のもと、町ぐるみで子どもを育てる風土のある地域である。

## 2 研究主題

生徒の学ぶ意欲を高める授業実践のあり方 — 基礎・基本の確実な定着を目指して —

## 3 研究の概要

### (1) 生徒の実態と課題

<国語>

- ・ポイントを押さえながら読むことが苦手で、読解力に課題がある。
- ・「読む」「書く」活動の不足と、語彙力に課題がある。
- ・記述式において無解答が多い。

<数学>

- ・資料を読み取る力に課題があり、公式などの活用に結びつかない。
- ・関数や図形の基本的な性質について理解不足である。
- ・記述式において無解答が多い。

### (2) 学力向上のための取組について

#### ① 授業規律の確立

- ・小中連携での授業規律『学力向上五箇条』の徹底

#### ② 授業改善・学習指導の工夫

- ・『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』を取り入れた授業実践

#### ③ 学習意欲・学力の向上

#### ④ 家庭学習の充実

生徒質問紙の結果から、1日当たりのゲームやスマホ等の使用時間が減少し、家庭学習時間の増加が見られる。  
全国学力・学習状況調査の結果は、H27の本校平均正答率との比較である。各教科において、本校としての向上が見られる。

## 4 成果について

・生徒質問紙の結果(H27との比較)(%)

	H28	H29	H30
授業以外の1日当たりの勉強時間が1時間以上の生徒	+12.0	+14.0	+19.8
土・日などの休みの日の1日当たりの勉強時間が1時間以上の生徒	+4.3	+17.4	
1日当たりのテレビゲームをする時間が2時間以上の生徒	-14.1	-21.8	
1日当たりのメールやインターネットをする時間が2時間以上の生徒	-2.5	-11.3	

・全国学力・学習状況調査の結果

	H28	H29	H30
国語A	+10.0	+10.0	+8.0
国語B	+9.9	+15.9	+4.9
数学A	+7.2	+10.2	+12.2
数学B	+11.8	+17.4	+12.4
理科			+21.4

## 5 今後の課題について

記述式問題の無解答は減少したが、出題の趣旨から離れた解答も見られる。今後も思考し表現する力の育成が必要である。家庭学習の時間は増えたが、全国的に見ると課題がある。家庭と連携した取組を一層進めていきたい。また、学年によりアンケート結果に差があるので、相互授業参観や授業アンケートを生かした授業改善を目指して、教科部会での研修を充実させ、教員が一丸となって学力向上に取り組んでいけるよう学校全体で研修に取り組んでいきたい。